小国高校図書館便り第７号



杉声～SANSEI～



平成３０年１２月１７日発行
生徒図書委員会
作成者：甲斐・時松

もうすぐ冬休みですね。
長期休みはシリーズ物を読むのにうってつけの時期です。いつもより長い期間、本が借りられるので、普段シリーズ物を読まない人も読んでみてはいかがでしょうか。
出張図書館も行っているので、普段あまり本を読まない人や図書館に行かない人も、この機会に図書委員が選んだ本を借りてみてください。
寒い日が続き、家から出る機会も少なくなると思います。そういうときこそ本を読んでみましょう！
時間があっという間に過ぎていきますよ！

図書委員オススメ本！

『デルトラ・クエスト』エミリー・ロッダ // 著



影の大王に占領されたデルの街を救うため、少年リーフは
デルトラのベルトにはめる宝石を求めて旅に出る！
王道のファンタジーアドベンチャー！

『ダレン・シャン』ダレン・シャン // 著



ある日、ダレン・シャンは親友と共に夜のサーカスを見に行った。
狼男、肋骨男、無邪気にショーを楽しむダレン・シャン。
そのサーカスが自分の運命を変えてしまうとも知らずに…。

『とある魔術の禁書目録（モクシロク）』鎌池和馬 // 著



さまざまな能力を持つ者が居る学園都市。
その中で、能力を持たないと判断された上条当麻の家のベランダに１人の少女が引っかかっていた。その少女が追われていると知った上条当麻は少女を助けるべく行動する。魔術と科学が織り成す物語を見逃すな！

今月の展示

今月の展示は**クリスマス特集**です！！！

クリスマスにまつわる本やこの季節に合っている本などを展示してあります。

なかなか図書室に行かないという人も、ぜひこの機会に本を読んでみてください。

2学期の貸出冊数ランキング

1位	3－1	64冊
2位	3－2	63冊
3位	1－1	49冊



2学期の貸出冊数ランキングは以上のようになりました。2年生も上位に入れるように頑張りましょう。1，3年生は、この調子で利用しましょう。

『枕草子』

清少納言

第一段の「春は、あけぼの。」が有名な『枕草子』。著者の清少納言(生没年未詳)は平安時代の歌人、随筆家で、一条天皇の中宮定子に仕えていました。学才を定子に愛され、この随筆を書くことを促されたといわれています。枕草子では、当時の華やかな宮中生活と移ろいゆく季節を生きる人間の心模様などが、清少納言独特の鋭くユニークな視点で描かれています。

「職(しき)の御曹司(みぞうし)におはしますころ、西の廂(ひさし)にて」で始まる話は、寒さ深まる一二月半ばの出来事。大雪が降った後、定子の仰せで屋敷の庭に大きな雪山が作られました。定子と女房たちの間でいつまで雪が解けずに残るか、賭けが行われ、みんなは一〇日あまりと答える中、清少納言だけは一月一五日までと答えます。

予想の日までに雪山が解けないかどうかやきもきして、庭番に見張らせる清少納言の負けず嫌いな性格がうかがえます。また、賭けをめぐる意外な結末がおもしろいです。古典と構えずに読んでみると、共感するところが多く見つかるでしょう。

※「枕草子」は、岩波書店、新潮社、筑摩書房、角川書店などから発行されています。